

小諸新校（仮称）の施設整備について（素案）

R3. 12. 23 現在
高校教育課・高校再編推進室

- 新校の施設整備に係る基本コンセプトやポイントについては、現在、営繕部局や財政担当部局と調整を進めています。
- なお、調整中につき変更となる場合もありますが、施設整備に関する概ねの工程は、次のとおりと考えられます。

1 施設整備の基本コンセプトについて

県立高校施設の著しい老朽化と社会や学びの変化に対応し、学習空間デザインやZEB化等による新しい時代にふさわしい学校施設への転換を図り、質的向上の実現を目指していきます。

2 施設整備のポイントについて

- 新校の開校に向けた所要施設（校舎等）の整備等については、従来の標準的な校舎整備によらず、新たな視点を加えて進めていきます。

《新たな視点》

- ・ZEB化の推進

自然環境を最大限活かす建築的工夫、設備の省エネルギー化+創エネルギー など

- ・学習空間デザイン・面的整備

施設全体を考え、探究的な学びに対応した使いやすい学習空間を創出 など

3 小諸新校の施設整備に係る概ねの工程について

（1）統合に係る県議会の同意



（2）設計関連業務（予算措置を県議会で議決）

- ①新校建設ZEB・デザイン基本計画（仮称）の策定
 - ・プロポーザル方式で事業者を選定
 - ・新校の学校施設（学習空間デザイン等）の全体構想を策定
- ②整備する施設の基本設計
- ③整備する施設の実実施設計

設計関連業務
（①～③）の
所要期間は、
概ね2年間



（3）工事関連業務（予算措置を県議会で議決）

- ①施工業者との契約まで概ね6ヶ月程度（県議会で議決）
- ②契約後の工事期間は、概ね15ヶ月以上と見込まれる

新校舎の供用
（一部）開始
まで、概ね2
年程度は必要